

第27回「ふれあい・心のステーション」 自立と社会参加に向けて大きな自信に!



9月12日(木)に、令和6年度第27回「ふれあい・心のステーション」が、大丸京都店を会場に実施され、高等部7・8・9・10・11組がデパート店員となり、作業学習で制作した製品の販売体験をしました。

生徒たちは、日頃からお客様に喜んでもらうには、どのような仕上がりにしたらよいのか、また、そのためにどのように作業をすればよいのかなど一人一人が考えながら作業学習に取り組んでいます。販売会が近付くと、自分の考えを伝えたり友達と相談し合ったりすることをねらいに、製品陳列のレイアウトをみんなで考え、製品を発送するための梱包作業にも取り組みました。

当日は、待ちかねたたくさんのお客様を前に本校生徒が開会式の司会進行を行い、11時から販売がスタートしました。

会場では、ブース内で接客をする生徒だけでなく、ビラ配りやアンケートのお願いをする生徒、そして、実演スペースでお客様にガラス工芸の実演をする生徒もおり、それぞれの持ち場で練習してきた成果を発揮しました。接客は8名ずつブース内に入り4回のローテーションで行いました。少しずつ度胸も付き、2回目、3回目とだんだん声が大きくなり、笑顔も増えてきました。海外からのお客様に対しては、ジェスチャーで伝えたり指導者に助けを求めたりするなど、戸惑いながらも接客でき、とても貴重な経験ができました。

また、「バックヤードから店内に出入りする際には一礼する」や「荷物は背負ったり、肩に掛けたりせず手で待つか手で抱えて移動する」など、大丸の職員様と同じルールを守り従業員入り口から出入りするなど、社会人としてのルールやマナーを体験することもできました。

有名デパートの店員として貴重な体験をした取組の成果や課題を、今後の製作活動や、11月に行われる「三ツ丸ストア余内店」での販売会に生かしていきます。



ガラス工芸作業の実演

QRコードなども使いアンケートのお願いをしました!